



令和元年 7 月 8 日
海上保安庁

東南アジア海域への巡視船派遣について（結果概要）

～インド太平洋地域の海上保安機関との連携を強化！～

海上保安庁は、6月17日から、東南アジア周辺海域等における海賊対策及び日本・フィリピン・インドネシア三国合同排出油防除訓練実施のため、巡視船「つがる」をブルネイ・ダルサラーム国及びフィリピン共和国に派遣しています。

派遣中は、公海上でのしよ戒を実施したほか、ブルネイでは、王立警察職員を対象としたワークショップ等を実施、フィリピンでは、沿岸警備隊と海賊対策に係る連携訓練やフィリピン・インドネシアとの合同排出油防除訓練を実施し、各国海上保安機関との連携・協力関係を強化しました。

引き続き、インド太平洋海域の法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化に貢献してまいります。

なお、巡視船「つがる」は任務を終了後、7月14日、函館港へ帰港する予定です。

1 プルネイ・ダルサラーム国での取組

(1) ワークショップ

6月27日(木)、ブルネイ王立警察職員を対象としたワークショップを開催し、互いの業務理解を深めた。

- ・ 海上保安庁モバイルコーポレーションチーム(MCT)により海上保安業務やMCTの取組について説明。
- ・ 海上保安協会職員によりリーダーシップについて講義。
- ・ 英国政府職員によりブルネイ等の東南アジア諸国に対する英国の能力向上支援等の取組について説明。
- ・ 東南アジア諸国に対する法執行能力向上支援について意見交換。

(2) 入港式典等

6月26日(水)、巡視船「つがる」の入港式典、在ブルネイ日本国大使及び在ブルネイ英国高等弁務官による船内視察及び東南アジアの海洋分野における日英協力について意見交換。

6月27日(木)、巡視船「つがる」船長等によるブルネイ王立警察長官への表敬訪問、同長官による巡視船「つがる」船内視察、ブルネイ王立警察職員を対象としたオープンシップ(船内見学)を実施(50名乗船)。

6月28日(金)、巡視船「つがる」船長等による在ブルネイ日本国大使への表敬訪問。

(3) 海上自衛隊との連携

6月26日(水)、ブルネイ・ムアラ港入港前にブルネイ沖公海上で海上自衛隊護衛艦との通信訓練及び人員輸送訓練を実施し、災害対応や捜索救難等における一般的な連携手順を確認。

2 フィリピン共和国での取組

(1) 連携訓練

6月30日(日)、ミンダナオ島南側のバシラン海峡において、巡視船「つがる」とフィリピン沿岸警備隊(PCG)巡視船2隻(日本が供与した40メートル級巡視船「BRP BAGACAY」含む)による連携訓練を実施。

(2) 入港式典等

7月1日(月)、巡視船「つがる」が、当庁職員及び現地在住の方の出迎えの中、フィリピン・ダバオに入港。ダバオに入港後、フィリピン沿岸警備隊及びインドネシア海運総局とともに、入港式典を実施。また、7月2日(火)、ダバオ在住の方々に対するオープンシップを実施(208名乗船)。

(3) 合同排出油防除訓練

7月3日(水)、ダバオ港沖合海域等において、海上保安庁、フィリピン沿岸警備隊及びインドネシア海運総局が連携し排出油防除訓練を実施。

詳細は、別紙1「日本・フィリピン・インドネシア三国合同排出油防除訓練について(結果概要)」参照

3 入港式の取材について

巡視船つがる入港式を以下のとおり実施します。

日 時： 令和元年7月14日(日)午後2時40分から午後3時まで
(入港時刻は午前9時ころ)

場 所： 函館港万代埠頭北1号岸壁(北海道函館市万代町19-6)に入港した巡視船つがる船上

備 考： 船内における取材はできません。

【参考】

(1) 派遣巡視船

函館海上保安部所属 巡視船つがる
(総トン数3,100トン、ヘリコプター1機搭載)

(2) 派遣日程

令和元年6月17日(月) 函館港出港/出港式典
6月26日(水) ムアラ港入港(ブルネイ・ダルサラーム国)
~ ブルネイ王立警察に対するワークショップ等
6月28日(金) ムアラ港出港
~ フィリピン沿岸警備隊との連携訓練
7月 1日(月) ダバオ港入港(フィリピン共和国)
~ 三国合同排出油防除訓練
7月 5日(金) ダバオ港出港
7月14日(日) 函館港入港/入港式典

(3) 海上保安庁モバイルコーポレーションチーム

平成29年10月、海上保安国際協力推進官を責任者とする能力向上支援の専従部門(海上保安庁モバイルコーポレーションチーム)を発足し、現在10名体制。支援対象機関の職員と共に、必要な支援内容を協議する等、信頼関係を構築しながら支援対象機関の要望にきめ細かく対応し、より一貫性・継続性のある能力向上支援を実施することで、相互の能力向上を図っている。

参考写真



ムアラ港入港



船長囲み取材



海上保安業務に関するセミナー



ブルネイ王立警察長官表敬訪問



ブルネイ王立警察職員等による
巡視船つがる見学



フィリピン沿岸警備隊との連携訓練



ダバオ港入港



合同排出油防除訓練

日本・フィリピン・インドネシア三国合同排出油防除訓練について (結果概要)

フィリピンとインドネシアは二国間協定の「スラウェシ海排出油対応ネットワーク計画」に基づき、1988年から2年ごとに合同で排出油防除訓練を実施しています。1993年に我が国に対し同訓練への招待があったことを受け、海上保安庁は1995年以降、巡視船や職員を派遣しています。

今般、油防除分野で関係国との連携強化を図るため、日本・フィリピン・インドネシア三国合同排出油防除訓練に、巡視船「つがる」及び海上保安庁機動防除隊等が参加しました。

1 実施日、場所及び参加機関

- (1) 実施日：令和元年7月1日(月)～5日(金)
- (2) 場所：フィリピン・ダバオ港沖合海域等
- (3) 参加機関：海上保安庁、フィリピン沿岸警備隊、インドネシア海運総局

2 訓練概要

- (1) 机上訓練
各国訓練参加者が、訓練参加船艇の動きや想定事案への対応方針を確認する観点から、机上訓練を実施。
- (2) 洋上訓練(搜索救助訓練、消火訓練、排出油防除訓練)
ダバオ沖を航行中のタンカーに旅客船が衝突し、油が流出しているとの想定事案に三国が連携・協力して対処。海上保安庁は、救助者の搜索救助及び油防除を実施。フィリピン沿岸警備隊からは、日本が供与した40メートル級巡視船1隻が訓練に参加。
- (3) 訓練検討会
洋上訓練終了後、訓練検討会において、日本・フィリピン・インドネシアが訓練結果に対する講評を実施したほか、本訓練参加国の連携強化と油流出事案への対応能力維持・向上の観点から、今後も本訓練を実施する必要性を確認。また、同検討会において、海上保安庁機動防除隊から同組織の紹介や日本における油流出事案対応に関するプレゼンテーション、海上保安庁MCTから海上保安庁の国際協力業務の紹介を実施。

【参考】海上保安庁機動防除隊

海上に排出された油、有害液体物質の防除や海上火災の消火及び延焼の防止に関する指導・助言や関係者の調整を実施するほか、必要に応じて自ら防除措置などを行う。

参考写真



ダバオ入港式典
つがる船長挨拶



訓練開始宣言



机上訓練



合同訓練の状況1



合同訓練の状況2



幹部による訓練視察



機動防除隊による
プレゼンテーション



モバイルコーポレーションチームによる
プレゼンテーション